キャラクター名: 町田　胡菰(まちだ　ここ)

プレイヤー名:

シンドローム	ウロボロス ウロボロス	ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	
オプショナル		年齢	17	性別	男
覚醒	忘却	衝動	殺戮	初期侵食率	41 %
出自	名家の生まれ	経験	平凡への反発	邂逅	欲望：証明

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	1			4
感覚	2		0			2
精神	4		0			4
社会	0		1			1

HP	32
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報： FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
血吸	白兵	4r+2	5	[消費HP×2+8]		最大攻撃力22(24) 赤黒い日本刀 刃長80.3cm、反り3.03cm、厚さ0.6cm
据物―六ツ胴―	白兵	4r+2				100↑ 侵蝕+42(武器生成&破壊も込みで)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
造血剤	
コネ：FH幹部	
コネ：要人への貸し	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
申し子	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト：ウロボロス	3	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果：	C値-[Lv]							
原初の青：赫の剣	7	4	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	武器生成 攻撃力[(消費したHP)×2+8](消費HP上限[Lv×2])							
背教者殺し	1	3	メジャー	-	-	対決	-	
効果：	攻撃命中時、対象のラウンド間のダイス-[Lv]							
原初の赤：ブラッドボム	5	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果：	追加ダメージ+[Lv-1]D 与えたダメージを自分も失う							
原初の白：オーバーロード	1	5	オート	至近	自身	自動	80↑	
効果：	武器の攻撃力+[武器の攻撃力] メインプロセス終了時武器が破壊される							
原初の黒：ライトスピード	1	7	マイナー	至近	自身	自動	100↑	
効果：	メジャーアクションを2回行う C値+1 シナリオ1回							
原初の黄：スタートダッシュ	1	4	イニシアチブ	至近	自身	自動	-	
効果：	戦闘移動を行う 離脱可能 シーン[Lv]回							
セレリティ	1	5	メジャー	至近	自身	自動	Dロイス	
効果：	メジャーアクションを2回行う メインプロセス終了時HP[10-Lv]点失う シナリオ1回							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「こんにちは！それと、さようなら！！」
「えーっと、名前は言いたくないから、コンって呼んで！ あ、……コンコン、コホン、こんな感じの方が良いですか？」
「僕は、ちゃんとした剣客ですよ……！！！」

FHで殺し屋を営む自称剣客。本名を呼ばれるのを嫌い、自分でつけたあだ名、ないしはコードネームでのみ呼ばれている。その能力から依頼の達成率はほぼ100%を誇り、さらには一切の仕事を選ばないことで知られている若き狂人。

運動 D　オーヴァードとしては最底辺。
学力 E　中卒。バカではないが知識は皆無。
精神 B- FHに染まっている。
人格 C+ 時々によって差が大きい。
能力 A- 反動のため常には全力が出せない。
切札 EX 対人1vs1では最強。

普段は町の雑踏に紛れて生活している。特定の拠点も持たず、気の向くままの放浪生活。報酬があるため生活には困らないが、強者と見れば依頼対象外にも斬りかかり殺ってしまうため意外とギリギリ。性格がコロコロ変わるため依頼時は見極めてからが無難。

血吸
ある日突然彼の手元に現れた妖刀。別名、童子切安綱。数々の逸話を持つ、天下五剣にして日本刀の東西の両横綱と呼ばれる一振り、その写し身。未だに現れた原因は不明。本来よりも概念的で、それぞれの逸話の要素を含む。例えば、彼の性格がコロコロ変わるのも刀の持つ狐憑きの逸話に依るものである。

据物―六ツ胴―